

明治大学の教育

PROFILE



渡邊 友亮
WATANABE Tomoaki

理工学部教授
副学長(総合政策担当)
専門:無機材料化学
1972年 栃木県生まれ
1996年 明治大学理工学部卒業
2001年 東京工業大学大学院博士後
期課程修了 博士(工学)
2007年 明治大学理工学部准教授
2012年から現職
主な著書・論文
Hiroshi Nishiyama, Taro Yamada,
Mamiko Nakabayashi, Yoshiki
Maehara, Masaharu Yamaguchi,
Yasuko Kuromiya, Hiromasa Tokudome,

Seiji Akiyama, Tomoaki Watanabe,
Ryoichi Narushima, Sayuri
Okunaka, Naoya Shibata, Tsuyoshi
Takata, Takashi Hisatomi &
Kazunari Domen 「Photocatalytic
solar hydrogen production from
water on a 100-m² scale」*Nature*
Vol.598 (2021) 308

所属学会
日本化学会、応用物理学会、日本セラ
ミックス協会、日本MRS

ンを受講し、秋学期開始日(9月20日)から授業履修を開始しました。日本語教育に加えて、所属学部での専攻に応じて、秋学期授業を受講しています。

今回のウクライナからの学生受け入れでは、ウクライナ避難民への支援を行っている自治体(東京都杉並区)にご協力いただき、同区が取り組むウクライナ避難民へのワンストップ相談窓口によるご支援や、ソフトバンクグループによるスマートフォン無償貸与の活用など、早期に生活基盤を整えることができました。また、日本財団の「ウクライナ避難民支援基金」による受け入れ学生への生活費および住環境整備費のご支援、杉並区交流協会の「ウクライナ緊急支援寄附金」による受け入れ学生の日本語教科書費用の助成支援など、学外機関の皆さまのご支援・ご協力を賜りながら学修支援・生活支援を行っています。

これらの温かなご厚意に感謝し、今後とも協力機関と連携して、困難な状況にあるウクライナ受け入れ学生に対し学修機会を提供行なってまいります。

明治大学における学修を開始

▶ 秋季入学式

受け入れ学生は、2022年9月19日に駿河台キャンパス・アカデミーホールで挙行された秋季入学式に出席しました。

秋学期から1年間にわたり、科目等履修生として、単位修得を目指します。



▶ 受け入れ学生と大学役職者の懇談会

秋季入学式に続いて、大学役職者との懇談会に出席し、大六野学長や所属学部の学部長、関係副学長と懇談しました。

来日間もない学生たちは、これから始まる日本での生活や明治大学での学びへの期待の言葉を述べました。

それを受けて、大六野学長からは「先行きが見えない状況ですが、明治大学にいる間は多くの友人をつくり、最大限に学生生活を楽しんでいただきたい」と学生たちを歓迎しました。

また、所属学部の学部長や副学長からも歓迎の挨拶があり、受け入れ学生たちにエールを送りました。



▶ 国際教育センターによるオリエンテーション

明治大学の概要、日本語教育、大学ポータルサイトの利用など、オリエンテーションを通じて、明治大学での学生生活について理解を深めました。

また、所属学部のアカデミックアドバイザー教員による面談や学修指導も別途受講しています。



▶ 秋学期授業の履修開始

秋学期開始日(9月20日)から授業履修を開始しました。

日本語教育に加えて、所属学部での専攻に応じて、秋学期授業を受講しています。



ウクライナへの軍事侵攻の影響を受けた学生の受け入れについて

2022年2月24日、ロシアのウクライナへの軍事侵攻が開始され、国際社会に大きな衝撃を与えました。これを受けて、「権利自由」「独立自治」を建学の精神とする本学としても、3月2日に学長メッセージを公表しました。

また、本学はこれまでも「UNHCR 難民高等教育プログラム(RHEP)」のパートナー校として、2011年から日本に住む、日本国籍を持たない難民の方を毎年受け入れてきました。

こうした状況を踏まえ、2022年5月、人道的な支援として、軍事侵攻を逃れ日本へ入国し学びの継続を希望するウクライナの学生に、本学において学びの場を提供することを決定しました。支援実施においては、一般財団法人パスウェ

イズ・ジャパンおよび日本国際基督教大学財団と共同して「日本・ウクライナ大学パスウェイプログラム」の枠組みを通じて学生募集を行いました。本学を含めて16大学が参画する同プログラムには、6月下旬の出願期限までに280人を超える学生から出願があり、日本への避難や学びの継続に高い期待が寄せられました。

7月には、本学での学修を希望する志願者の推薦を受け、学内選考の結果、政治経済学部1人、理工学部1人、経営学部1人、国際日本学部4人、合計7人の学生を受け入れることが決まりました。

9月中旬に来日したウクライナ受け入れ学生たちは、秋季入学式への出席や国際教育センターによるオリエンテーショ